

OpenDNSの「Network Already Exists」エラーのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[トラブルシューティング](#)

- [1. 登録に使用したパブリックIPアドレスを確認する](#)
 - [2. パブリックIPアドレスの更新](#)
 - [3. ISPに新しいパブリックIPアドレスを要求する](#)
-

はじめに

このドキュメントでは、OpenDNSにネットワークを登録しようとする際の「Network already exists」エラーのトラブルシューティング方法について説明します。

トラブルシューティング

1. 登録に使用したパブリックIPアドレスを確認する

- 登録するネットワークの現在のパブリックIPアドレスを特定します。
- パブリックIPアドレスが、インターネットサービスプロバイダー(ISP)から提供されたネットワークと一致していることを確認します。

パブリックIPアドレスが共有されている場合は、別のネットワークによってすでに登録されている可能性があります。

2. パブリックIPアドレスの更新

パブリックIPアドレスが別の既存ネットワークエントリーに関連付けられている可能性がある場合は、新しいパブリックIPアドレスの取得を試みます。

オプションA.ルータ経由でIPアドレスを更新する

1. ルータのWAN/インターネットインターフェイスページを見つけます。
2. アドレスを解放して更新するルータオプションを使用します (表現はプラットフォームによって異なります)



注：実際の手順は、ルータのモデルやISPの方式によって異なります。

選択肢B.デバイスの電源を再投入する

1. モデム (またはアップストリームのISPデバイス) の電源をオフにしてから、ルータの電源をオフにします。
2. ISPデバイスが既存のセッションまたはリースをクリアするまで待ちます。
3. 最初にモデムの電源を入れ、完全にオンラインになるまで待ちます。
4. ルータの電源を投入し、変更されたパブリックIPアドレスを確認します。

3. ISPに新しいパブリックIPアドレスを要求する

更新試行後にパブリックIPアドレスが変更されない場合は、ISPに問い合わせ、次のオプションのいずれかを要求します (サポートされている内容に基づきます) 。

1. DHCPリースを更新します。
2. 新しいパブリックIPアドレスを割り当てる
3. ネットワークがスタティックパブリックIPアドレスであるかどうかを確認します (スタティックアドレスは、通常、ISPの変更なしには更新できません) 。
4. パブリックIPアドレスの変更後にネットワーク登録を再試行してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。